

令和7年度活動報告



令和7年7月 札幌水源の森づくり 2025

林野庁 北海道森林管理局

石狩地域森林ふれあい推進センター

定山溪国有林での取り組み

札幌水源の森づくり

豊平川源流部に位置する定山溪国有林は、札幌市の「水源の森」として、札幌市民約 197 万人の生活を支える水道水の源として、おいしい水を育む重要な役割を果たしています。

平成 16 年から取り組んでいる「札幌水源の森づくり」では、札幌市内中心部で一般参加者にポット苗木を作製してもらい、「水源の森」への植栽はボランティア団体・協力機関で行ってきました。

令和 7 年 7 月 8 日（火）・10 日（木） 水源の森の下刈り作業

これまで「札幌水源の森づくり」に参加された皆さんが作製した苗木は、「水源の森」（定山溪ダム上流の国有林）に植栽し、大切に育てています。



[下刈り作業の様子]



(下刈り後の様子)

令和 7 年 7 月 25 日（金） 「札幌水源の森づくり 2025」

20 回目の開催となる「札幌水源の森づくり 2025」を北海道森林管理局で開催しました。

札幌市民の利用する水道水の 90% 以上は豊平川から供給され、その上流部には定山溪国有林の「水源の森」があります。

「札幌水源の森づくり 2025」では、市民の皆さんに水源の森に植えるポット苗木を作っていただくことを通じて、水源の森と札幌おいしい水の関わりについて知っていただくためのイベントです。

今年度の「水源の森づくり」は、北海道森林管理局で開催の「カルチャーナイト 2025」のプログラムの一つとして、夕方 17 時 30 分から 20 時 20 分の時間帯で実施しました。



[カミネッコン作りの様子]



[ポット苗木作成の様子]



[トドマツ・イタヤカエデ・ヤチダモの苗木]



[完成したポット苗木]

令和7年8月6日(水) 水源の森に苗木を植栽

7月25日に北海道森林管理局において開催した「札幌水源の森づくり 2025」で市民の皆さんが作成したトドマツ・ミズナラ・ヤチダモのポット苗木を「水源の森」(定山溪ダム上流の国有林)に植栽しました。



[ポット苗木の植栽の様子]



[防鹿ネット設置の様子]

地域のもりから学ぶ森林づくり

地域に根ざした取り組みとして、札幌市立定山溪学園（今年度札幌市立定山溪小・中一環の義務教育学校化）と「地域のもりから学ぶ森林づくり」を定山溪国有林で継続して実施しています。

近隣の自然をフィールドとして、定山溪学園（5～9年生）を対象に森林教室を5回開催しました。

また、今年度の活動内容等は「森づくり活動発表会」で報告されました、

令和7年5月8日(木) 5月 森林教室 「身近な自然を見に行こう」

定山溪学園が環境保全活動をしている三笠緑地で実施しました。

「身近な自然を見に行こう」と題して、三笠緑地に自生している植生の開花調査を実施しました。

今年は、エゾエンゴサク、キバナノアマナ、カタクリ、ニリンソウが開花していました。

この植生調査は環境保全活動の一環として、平成25年から継続して実施しています。また、調査終了後、環境保全活動の看板を設置しました。



[センター職員から調査方法を説明]



[植生調査の様子]



[植生調査の様子]



[環境保全活動看板の設置]

令和6年6月4日(水) 6月 森林教室 「森をつくろう」

6月の森林教室は「子どもたちが描く夢の森づくり・自然観察ほか」と題して、「森をつくろう」シカ食害防止資材による天然木保護、「初夏の生き物探し」赤ちゃんイタヤカエデ探し、「2月に実施した森林教室の答え合わせ」ササ丈と積雪深の比較、「堆肥とムシの住みかづくり」木枠コンポストで枯草堆肥づくり、「森の風を感じよう」夢の森ブランコ体験を実施しました。



[稚樹に「エゾシカ食害防止資材」設置の様子]



[初夏の生き物探しの様子]



[2月の積雪深とササ丈の比較の様子]



[枯草堆肥づくりの様子]

令和7年7月17日(木) 7月 森林教室

7月の森林教室は「夢の森」に芽生えた新しい命（イタヤカエデの赤ちゃんを移植しよう）、「『夢の森』生き物図鑑と今を比較しよう」（夏の生き物観察）、「枯草コンポスト」（堆肥と虫の住みかづくり）、「夢の森に小道をつくろう」（ウッドチップで遊歩道整備）、「森の音・風・味を感じよう」（森のブランコ体験・ヤマグワ試食）を実施しました。



[イタヤカエデの稚樹の移植の様子]



[夏の生き物観察の様子]



[堆肥コンポストでの堆肥づくりの様子]



[ウッドチップで遊歩道整備の様子]

令和7年9月17日(水) 9月 森林教室

9月の森林教室は「守って育てる天然の苗」(背くらべ)、「来てくれた?来てくれるかな」(野鳥の巣箱確認と設置)、「大きくなあれ」(タネから育てた苗木植栽・保護管設置・背くらべ記録)、「枯草コンポスト」(堆肥と)虫のすみかづくり、「森の音・風を感じよう」(森のブランコ体験・営巣巣箱などの観察)を実施しました。



[背くらべの様子]



[巣箱設置の様子]



[苗木植栽の様子]



[枯草コンポストでの堆肥づくり]

令和7年12月18日(木) 「森づくり活動発表会」

札幌市立義務教育学校定山溪学園の5～9年生（小学5年～中学3年）が1年間を通じて取り組んでいる環境学習、森林保全、自然とのふれあい・観察等の活動結果を紹介する「令和7年度森づくり活動発表会」を定山溪学園で開催しました。

定山溪学園からの活動発表は「生き物にやさしい森を創ろう」と題して、今年度「夢の森」と「三笠緑地」で実施した活動内容等を発表しました。



[中学生の発表の様子]

当センターからは「チャレンジ タネから育てる『夢の森』」と題して、「タネの不思議 植物の作戦」の学習、タネ模型飛ばしを体験した後、クリ、シナノキ、サンショウ、イチイ（オンコ）のタネをプランターにまきました。



[センターの発表の様子]



[紙で作ったタネの模型飛ばしの様子]



[プランターにタネをまく様子]

和8年2月26日(木) 2月 森林教室

定山溪学園（4～8年生）を対象にした冬季の森林教室を「夢の森」で実施しました。

天気にも恵まれ、雪原の「夢の森」で松ぼっくり炭焼き体験、スノーシュー体験と動物の足あと観察、積雪深とササの高さ比較、ノコギリでハリエンジュ（ニセアカシア）のマギづくり、たき火を囲んで焼きマシュマロなどを実施しました。

子どもたちが玉切りしたハリエンジュ（ニセアカシア）は、職員製作のペール缶を加工した「ロケットストーブ」の薪に利用し、暖をとりながら焼きマシュマロをいただきました。



[スノーシュー体験と動物の足あと観察の様子]



[積雪深とササの高さ比較の様子]



[ノコギリでハリエンジュのマギづくりの様子]



[焼きマシュマロを食べている様子]

定山溪学園の皆さん、今年度もお疲れさまでした。

野幌国有林での取り組み

野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクト

平成 16 年 9 月の台風 18 号により被害を受けた野幌の森林を「100 年前の原始性が感じられる自然林」を目指した「野幌森林再生プロジェクト」を策定し、平成 17 年度から各種取り組みを実施しています。ここでは、野幌の豊かな自然のすばらしさ、森林に関する理解の醸成等、NPO 団体等と協働による森林づくりに取り組んでいます。



[平成 16 年 9 月に発生した台風 18 号の被害直後]

また、本プロジェクトのほか、平成 30 年 9 月に発生した台風 20 号による風倒被害箇所の一部を利用して、新たな森林再生に向けた取り組みを令和 4 年度からスタートしました。



[平成 30 年台風の被害直後]



[風倒木の処理痕の状況 (R4.5.31 ドローンで撮影)]

団体型の森林づくり

石狩森林管理署と「団体型森林づくり」協定を締結している NPO 団体、大学、企業等が風倒被害跡地に植栽し、その後の保育や生長調査等を継続的に取り組んでいます。

併せて、平成 30 年に発生した台風被害箇所においても同様の協定を NPO 団体等と締結し、被害跡地の森林再生に取り組んでいます。

当センターでは、NPO 団体等に対して、現地での技術指導等の支援を行っています。

野幌森林づくり塾

野幌森林づくり塾は、平成 16 年の台風被害にあった野幌森林公園の自然再生プロジェクトの一環として、植栽等の森林づくりを体験しながら森林づくりに関する知識を習得し、将来的には自主的なボランティア活動の展開につながることを期待した取り組みです。

今年度は、13 名の応募があり、3 回の森林環境教育プログラムを実施しました。

令和 7 年 6 月 26 日(木) 第 1 回「外来種防除！」(特定外来生物オオハンゴンソウ防除)

第 1 回目の森林づくり塾は、北海道ボランティア・レンジャー協議会との協働事業として、特定外来生物であるオオハンゴンソウの除去を行いました。参加者は、野幌森林づくり塾、北海道ボランティア・レンジャー協議会、北海道立総合博物館、北海道立野幌森林公園自然ふれあい交流館、石狩森林管理署、当センターと一般参加者を含む総勢 30 名（野幌森林づくり塾生 13 名）で実施しました。

当日は、不安定な空模様でしたが、徐々に天気は回復し、汗ばむ気温の中での作業になりました。



[抜き取り作業の様子の様子]



[オオハンゴンソウの根の切り落としの様子]

令和 7 年 7 月 31 日(木) 第 2 回「森林づくりを体験しよう！」

「森林づくりを体験しよう！」と題して昨年度植付した箇所の下草刈り、カミネッコンを利用した植付、防鹿ネットの設置、2022 (R4) 年度に植栽した箇所の視察を行いました。



[下草刈り作業の様子]



[防鹿ネット設置の様子]

令和7年9月30日(火) 第3回「森林づくりを体験しよう！」

第3回目の「野幌森林づくり塾」は、野幌森林公園の台風被害跡地の復旧を続けている認定NPO法人シーズネットと合同で開催しました。(野幌森林づくり塾9名、シーズネット11名)

今回は「森林づくりを体験しよう！」と題して、タネ探し、タネ巻き、キノコ観察を実施しました。



[タネ探しの様子]



[キノコ観察の様子]

今年度も無事に3回のプログラムを終えることができました。



[第1回]



[第2回]



[第3回]

新たな森林再生に向けた取り組み

平成 30 年に発生した野幌森林公園の台風被害跡地の森林再生に向け「社会貢献の森における森林整備活動の協定」に基づき取り組みを進めており、当センターでは活動団体の支援を行っています。

認定NPO法人シーズネット

認定NPO法人シーズネットは、野幌森林公園の台風被害跡地の森林再生に向けた取り組みを毎年実施しており、令和4～6年度に被害箇所（協定箇所）の植栽を行ってきました。

6月17日（火）・7月15日（火）植栽箇所の下刈りを実施しました。



[下刈作業の様子]

【取組一覧】

1 札幌水源の森づくり

年月日	内 容	参加者	場 所
2025/ 7/8・10	「水源の森」下刈り作業	(職員実行)	定山溪国有林
2025/ 7/22	「札幌水源の森づくり 2025」	一般市民	北海道森林管理局
2025/ 8/6	「水源の森」植栽作業	(職員実行)	定山溪国有林

2 地域のもりから学ぶ森林づくり

年月日	内 容	参加者	場 所
2025/ 5/ 8	5月 森林教室 「身近な自然を見にいこう」 植生の開花調査、環境保全活動看板 の設置	定山溪学園 (5~9 年生)	定山溪国有林 (三笠緑地)
2025/ 6/ 4	6月 森林教室 シカ食害防止資材による天然木保 護、初夏の生き物探し、ササ丈と積 雪深の比較、枯草堆肥づくり、森の ブランコとヤマグワ試食	定山溪学園 (5~9 年生)	定山溪国有林 (夢の森)
2025/ 7/17	7月 森林教室 イタヤカエデの移植、夏の生き物観 察、枯草コンポスト、遊歩道整備、 森のブランコとヤマグワ試食	定山溪学園 (5~9 年生)	定山溪国有林 (夢の森)
2025/ 9/17	9月 森林教室 背えくらべ、野鳥の巣箱確認と設 置、タネから育てた苗木植栽・保護 管設置、夢の森ブランコ、堆肥と虫 のすみか作り、森のブランコ体験	定山溪学園 (5~9 年生)	定山溪国有林 (夢の森)

年月日	内 容	参 加 者	場 所
2025/12/18	「森づくり活動発表会」	定山溪学園 (5～9年生)	定山溪小学校
2026/ 2/26	2月 森林教室 松ぼっくり炭焼き体験、スノーシュー体験と動物の足あと観察、積雪深とササの高さ比較、ノコギリでハリエンジュ（ニセアカシア）のマキづくり、たき火を囲んで焼きマシュマロなど	定山溪学園(4～8年生)	定山溪国有林 (夢の森)

3 野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクト

年月日	内 容	参 加 者	場 所
2025/ 6/26	野幌森林づくり塾 2025 第1回 「外来種除去！（オオハンゴンソウ）」	塾生：13名 (総参加者数 30名)	野幌国有林
2025/ 7/31	野幌森林づくり塾 2025 第2回 「森林づくりを体験しよう！」	塾生：10名	野幌国有林
2025/ 9/30	野幌森林づくり塾 2025 第3回 「森林づくりを体験しよう！」	塾生：9名 (認定 NPO 法人シーズネット 11名)	野幌国有林

※ 上記のほか「団体型森林づくり」として、協力団体による森林づくりが行われています。

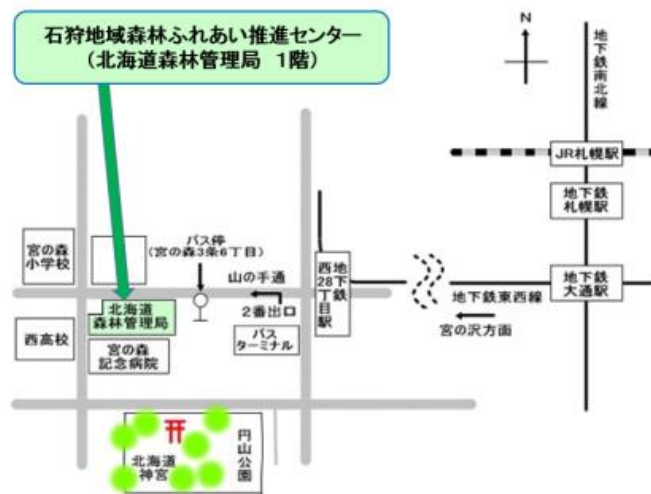
【就業体験実習（キャリア実習及びインターンシップ）】

北海道森林管理局では、就業体験を通じて学生の高い職業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として、職場体験実習（キャリア実習及びインターンシップ）を実施しています。

今年度、当センターでは8月27日に札幌工科専門学校から6名を受け入れ、幅広い分野での業務体験を実施しました。



案内図



お問い合わせはこちらまで

林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林ふれあい推進センター

〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番

TEL 011-622-5114

ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/

E-mail h_ishikari_f@maff.go.jp